

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
専攻実技 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	尾崎久美子/Maliya 横山愛実/大森祐斗			実務 経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
Maliya / 東京を拠点に活動するシンガーソングライター。18歳の時書き下ろした楽曲SonyMusic×ZOOM主催の初デモオーディションでZOOM賞を受賞。 20歳の夏、ボストンにあるパークリー音楽大学のサマープログラムに参加。その後2018年2月発表の1stアルバム” ego”をはじめ、2020年8月には2作同時に発表した“ruby” “selene”を含む4枚のEPをこれまでにリリース。自身のルーツである90年代のR&Bやソウルミュージックなどを軸としつつも、作品ごとにジャズや現行のフューチャーソウルなど様々なエッセンスを取り入れながら自身の音楽を追求している。また、親交の深いWONK、KANDYTOWNのメンバーらの作品にも参加しているほか、自身の作品にはSIRUP、Yo-Sea、プロデューサーとしてG,RINA、Mori Zentaroを迎えるなどジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションを交えながら日本の音楽の可能性を広げている。											
授業概要											
各自、自分がやりたいスタイルを考え、選曲やステージパフォーマンスをマンツーマンで相談しながら決めていく。他のアンサンブル、コーラス、ボイトレ等で学んだことをどのように活かせばいいのか、それぞれのスタイルによって違ってくるのでよく理解した上で指導したい。またステージパフォーマンスを客観的に見る目を養うことも必要となるため、授業でのパフォーマンスは必ず動画に録画し、見直すことを課題とする。											
到達目標											
自分が目指すスタイルで、オリジナル楽曲を持ち（自分で作曲する）学内のイベントやオーディション、また外部でのライブ、配信、オーディションに出演できるレパトリーとする。											
授業方法											
マンツーマンの授業スタイルで、週に2限行う。この授業がボーカルコースの核となり、指導の中心となるので丁寧にわかりやすく、日頃のように練習すればいいのか、ポイントを毎回伝えるようにする。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	各自、前期の課題のまとめ										
第2回	学内オーディション全員参加にあたっての任意の楽曲レッスン 1										
第3回	学内オーディション全員参加にあたっての任意の楽曲レッスン 2										
第4回	同じクラスの数人で動画を見て意見交換、アドバイス、改善点を一緒に考える										
第5回	洋楽の課題、その理解の仕方の指導 1										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
専攻実技2	
第6回	洋楽の課題、その理解の仕方の指導 2
第7回	洋楽の課題、その理解の仕方の指導 3
第8回	洋楽の課題曲のリズムの取り方及びそのパフォーマンス実践 1
第9回	洋楽の課題曲のリズムの取り方及びそのパフォーマンス実践 2
第10回	修了ライブに向けての準備とその指導 1
第11回	修了ライブに向けての準備とその指導 2
第12回	修了ライブに向けての準備とその指導 3
第13回	修了ライブに向けての改善点、
第14回	修了ライブのパフォーマンスの指導、まとめ
第15回	1年通しての総決算となる修了ライブ本番